

# 東城日報

刊夕日七

## 後任朝鮮總督

### 上原大將說高し

寺内閣成立後朝鮮總督の後任は現參謀總長上原大將に任命さるべしとの説高し又た參謀總長の後任には井口中將任命を見るべしと云ふ(東京特電)

## 寺内閣と同志會態度

寺内閣成立後同志會の態度は如何なるものか。同志會の態度は如何なるものか。同志會の態度は如何なるものか。

## 大隈侯に元老待遇

大隈侯に對し辭職御許しと同時に今後元老の待遇を賜はるべき優遇に降下するべしと云ふ。大隈侯に對し辭職御許しと同時に今後元老の待遇を賜はるべき優遇に降下するべしと云ふ。

## 外交總長に王氏推薦

五日の閣議にて外交總長に王氏を推薦するに決し午後衆議院に通過せり北京特電

## 徐州會議解散命令

北京政府は徐州會議の解散を命じたり北京電

## 獨の援軍頻りに到る

露軍戰線にコプエル前面に到る。露軍戰線にコプエル前面に到る。露軍戰線にコプエル前面に到る。

## アンタル河南英軍優勢

在佛英軍司令官(イタ)將軍五日後の公告に據るにアンタル河南の英軍は優勢を發揮し我軍はシニール谷の南に於て英軍に多大の死傷を生ぜしめたり(倫敦電)

## 總裁寺伯訪問

總裁寺伯訪問。總裁寺伯訪問。總裁寺伯訪問。

## 九月中の朝鮮貿易

輸出四百三十八萬圓 輸入七百四十四萬圓 合計一千二百八十二萬圓

## 閣院宮殿下の御通過期

十二日京城御著。閣院宮殿下の御通過期。閣院宮殿下の御通過期。

## 川村元帥出發

元帥川村元帥出發。元帥川村元帥出發。元帥川村元帥出發。

## 立花中將西行

立花中將西行。立花中將西行。立花中將西行。

## 金銀貿易好調

九月中に於ける金銀貿易の好調。九月中に於ける金銀貿易の好調。九月中に於ける金銀貿易の好調。

## 佐藤博士榮轉

佐藤博士榮轉。佐藤博士榮轉。佐藤博士榮轉。

## 露領事官出發

露領事官出發。露領事官出發。露領事官出發。

## 地方補助現程

地方補助現程。地方補助現程。地方補助現程。

## 西行中將

西行中將。西行中將。西行中將。

## 山元

山元。山元。山元。

## 邱大

邱大。邱大。邱大。

## 州忠

州忠。州忠。州忠。







儲は何も皆ハイカラで餘り無作法  
 方はございません、御款立に用ひ  
 鮮魚は昨今すべて元山のものを用  
 て居りますが、  
 冷蔵庫用の氷まで

地人の方には主にホキスキーを御  
 文になる方が多く  
 他、洋酒は名前の  
 賣れてないせいかごなたも餘りお  
 になりません

くわいしん油を煮て、  
して火にかけ、油を通し  
油をさし四五盞立て、  
りねのして島肉五十俵位、割して玉子二個  
りねへ、タイパンに煎餅油をぬりて、船火に  
其中に油をならべて、前の島を汁共になら  
み下的た焼かたりならき返し、して又焼き  
なのを取りて、(一斗水は、子)

千餘石の相場は平均  
 七圓六七十錢程で、中  
 心として各需要市場に繰送して、各  
 々當地取扱店主の責任で松本送付請託  
 正野々なり

牛皮安人氣 露國文  
 牛皮安人氣 露國文  
 牛皮安人氣 露國文

仁川現物市場  
 大津二頁餘張  
 買たる玉數三千十餘張

九利喰買 昨晩  
 商店は今朝小樽の  
 退きたり一面二千餘  
 も市場の注目を惹い  
 買ふ 店より  
 店場前  
 石の上に上りたりとの  
 退す、あらう

が愈々内閣の組織を見る  
 に手仕舞の賣物があるの  
 心して買つて居られぬと  
 思ふ。云々引けは小樽  
 師とも云ふの格下を示した  
 式は部分的に怒るゝ足らぬ  
 政變に別は怒るゝ足らぬ  
 愈々確するまでは多少人  
 退す、あらう

高下な線  
よければ  
ぬれども  
ぬれども  
ぬれども  
ぬれども  
ぬれども

之候間何卒賑々しく御奉  
の程奉願候

京 城 本町  
電話八九〇

藍玉

本場精選の地産特  
特別破額を以て販  
△代何の義に御願

釜山本町四  
電話七八

入仕候に付一坪分以上御入用の御方  
實仕候  
曾次弟直に御願可申上候  
三丁目  
一番  
小津商

店



第一百八十四回

浪上義三郎速記

A black and white illustration depicting a scene from a Japanese narrative. A samurai, dressed in full traditional armor (yoroi) and a helmet (kabuto), stands on the right, gesturing with his right hand towards a man kneeling on the ground. The kneeling man is looking up at the samurai. To the left, another man stands observing the interaction. A large, cylindrical object, possibly a drum or a pot, sits on the ground between the kneeling man and the samurai. The background is simple, suggesting an outdoor setting with a hill or mountain in the distance.

さいとはチト言ひにくゐと見てて出  
たは出たが何となく含羞して居りま  
す、百葉の大膽にも恐れぬ先生も是  
には除程困つたと見えます。然し茲  
が古武士の尊い所でございます。

十月九日九星

舊九月十三日巳卯  
本令九雲南取先頁

▲九雲 無罪 出の事有自任で新社会を西方  
に背向する▲白 尻のひける准有目撃手手  
人署名を求む金銀證憑は明利人署名▲券  
紙主きて書上の目録あり大利有使と疑わな  
思ふ 本令▲四枚 前時盛天大目撃証人金名  
心へ取出る日本銀行現金合資の株書▲五張 株  
証券を計る専断書▲六白 閉口するところを  
目撃手手控の証言は各々個人と交渉を乞ひ  
思はれ迷惑の事目撃手手事は吉女義助の証言  
に依るべし▲八 照会書 物持に解日也也  
門面要求聴聞となる命題 枯物に解日也也

八日 電話五七八番 京城壽町 壽座

前加賀原屋山哲錦臨 寺五幕  
本日由來後手司監 幸三屋  
切初子代、老母、兩井坊、左衛門、三郎  
尾上、月屋、辰女、大僧正、辰女、助  
十郎、月屋、三郎、辨正、九十郎、一軍  
次兵衛、大月(關太郎) 主税、關正、玄  
善、小文次、松王九(市十郎)

いばさ●はしり痔●痔瘻  
●脱肛●痔●血●痔瘻  
●なされ種々の御治●御薬を服●せ  
られて効顯なき御方●は藥物治●の最  
後の御試●しにハガキにて御照●かれ  
ば實地●研究の上最もヨクキク妙●薬の  
東京府下●を無代で差上●板岸中江藥房

●ち●痔瘻  
●痔瘻に  
●病める人

した。婦のお雪は永らく遊女勤めを  
いたし、苦労したが本城へ送れて見れ  
はモウ三郎屋に居る譯にもゆかず、  
定は庄司甚右衛門の許に預り、左門  
の身が定まつて後何れへにか嫁付く  
と云ふ事になつた所が二年ばかり経  
つて宮本の妻八重子が不幸にも没し  
ました故、庄司甚右衛門が口ををい  
たしお雪を宮本の妻にいたすやうに  
と申しました、武藏は一旦罷退いた  
したが再三勧められて終には一應  
に俯く御許しなき内は迎へる事はな  
本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番

内科 小兒科 京都醫院  
婦人科 村上憲佑

らぬと申して、早速君公の御前へ出  
たがなこ(孝女)にもしろ一度深川竹  
の勤めをいたしたものを、それを室々  
たる武士が妻にしたのだからお許し下

[illegible]

京都府米樂町一丁目商品陳列館通坂  
花柳病 須古醫院  
皮膚病 電話二〇三番

した諸將も皆江戶表へ羨し其れぐ  
功に依つて賞状を授けられたが實  
に此度の城攻めの武功最輝で有る  
といふので郷川様の評判の宜い事一  
通りでない、宮本武蔵も毛利室意軒  
を討取つて大した功名名事に躍進  
いたしました、  
時に彼の關原左門、淺  
野玄黨守殿よりは是非歸參をいたすや  
つごの御沙汰でありますから、武蔵  
も大に喜び、左門も本望を遂げ故主  
へ歸參をすれば此上の喜びはないか  
ら茲で淺野阿一歸參いたし和地三右  
衛にて御取立となし父の跡を立てま

明治廿年九月

岡村介石易斷本部  
岡村介石易斷支部  
新龍山樂館局

[illegible]

日本活版寫真株式會社特約  
本町一丁目  
電話二六六  
**有樂館**

野の蝶の命と消へて行くくはない戀の情が

御使用の靴  
御出向の靴  
御好みに  
定造り  
定価  
第二日

旅行用靴  
主便耐  
久無比  
無に  
靴

旅行用靴  
主便耐  
久無比  
無に  
靴

旅行用靴  
主便耐  
久無比  
無に  
靴

旅行用靴  
主便耐  
久無比  
無に  
靴

旅行用靴  
主便耐  
久無比  
無に  
靴

七七一八—東京特報—五五一前番

# 酒煙草

さらひになる業

**禁煙丸**　**禁煙液**

大澤博士の  
其地名士の  
本館　**禁煙論進呈**

大阪市柳田通二　森田商店



品質水仕　三ツ子

**梅毒**　**梅毒**

○へき　**梅毒**　**梅毒**

時疫の癰疽目・特に要請す直試上

**毒たぎ**

一、各百粒瓶入り

多量に用ゐるべし

小瓶大瓶

タイヨ  
萬年毛筆

鬘に五千本を限り時價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元ニ交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣仕候間相變らず御用命ありたし

○新刊 振替引換 〇新刊 京城日報社代理部

ナ特 圖タフタ二十分で髪上に染る。  
イ 自然の黒髮の色艶に染る。  
ス長 圖樣、梳につかず用法便利也。

血脈の色艶  
奈イス  
奈イス

各大博覽會  
金銀牌受領

大國 金土魯蘭 全國商店  
小國 金四倫蘭 化粧品店  
島子用 金三倫蘭 に取次す

振賣 大阪 東京 丹平 高倉

御徳用

なウラフ齒磨は他の齒磨よりも遙に品が良いのので一回の御使用量も極少量で足りすから眞の經濟と衛生を兼ね得るゝ方は

クラブ  
齒磨

を御使ひになります

眞しんの徳用とくよう齒磨はみがきはクラブ齒磨はみがき



京城論壇

閑却されたる一大産業

需要的趨勢と朝鮮の甜菜事業  
理學博士 三宅 驥

刊 朝 日 入  
頁二十てせ合と刊

[illegible]

●卷頭飾 師與弟子 新法 出世並 三重衣  
●婦人欄 といふべきもの自ら出て  
来りて色彩豊麗 又世の人々を傳へ備  
杉風論 聖賢は、杉風の聲に同情  
して論ぜるもの盛不折之に關す  
●月並研究は何人も指を染めざりし  
月並俳句に向て點々虚子等の研究  
進むべき俳句の道は虚子が難詠を

[illegible]

總編輯 齋藤繁太郎氏著述  
 編輯 町田長作  
 印刷 金堂製本  
 發行 大阪屋號書店  
 地址 大阪府大阪市東區  
 電話 二五七三番  
 大阪屋號書店

總編輯 齋藤繁太郎氏著述  
 編輯 町田長作  
 印刷 金堂製本  
 發行 大阪屋號書店  
 地址 大阪府大阪市東區  
 電話 二五七三番  
 大阪屋號書店

皇の世果ハ

長篇小説 花の行方 綾子星  
 誰にも出ない歌の作り方 星野水要  
 長篇小説 親子の縁 青花  
 少年小説 親子の縁 青花

▲三千餘年で見わたる星  
 ▲太陽熱で敵艦隊全滅  
 ▲太陽の家の来月の家来  
 ▲十貫目の人か三貫目  
 ▲誕生日ににお婆さん  
 ▲人類の悔むといふ星  
 ▲水も空氣もなき世界

▲愛讀となつた動物  
 ▲私の好きな秋草  
 ▲星のはじまり  
 ▲○○文壇や井戸  
 ▲大きくなりたないわ  
 ▲子供になりたないわ

新日本膨脹號

國家の膨脹問題の根本問題は、  
 膨脹の手段に在り。一、貨幣の  
 膨脹。二、貿易の膨脹。三、領土の  
 膨脹。四、人口の膨脹。五、資本の  
 膨脹。六、技術の膨脹。七、文化の  
 膨脹。八、政治の膨脹。九、宗教の  
 膨脹。十、藝術の膨脹。十一、科學の  
 膨脹。十二、工業の膨脹。十三、農業の  
 膨脹。十四、商業の膨脹。十五、交通の  
 膨脹。十六、情報の膨脹。十七、衛生の  
 膨脹。十八、教育の膨脹。十九、社會の  
 膨脹。二十、環境の膨脹。二十一、生態の  
 膨脹。二十二、宇宙の膨脹。二十三、時間の  
 膨脹。二十四、空間の膨脹。二十五、物質の  
 膨脹。二十六、エネルギーの膨脹。二十七、情報の  
 膨脹。二十八、知識の膨脹。二十九、意識の  
 膨脹。三十、存在の膨脹。三十一、可能性の  
 膨脹。三十二、無限の膨脹。三十三、創造の  
 膨脹。三十四、破壊の膨脹。三十五、再生の  
 膨脹。三十六、循環の膨脹。三十七、平衡の  
 膨脹。三十八、変遷の膨脹。三十九、統一の  
 膨脹。四十、多様性の膨脹。四十一、対立の  
 膨脹。四十二、協調の膨脹。四十三、競争の  
 膨脹。四十四、合作の膨脹。四十五、共生の  
 膨脹。四十六、共存の膨脹。四十七、共栄の  
 膨脹。四十八、共進の膨脹。四十九、共榮の  
 膨脹。五十、共進の膨脹。五十一、共栄の  
 膨脹。五十二、共進の膨脹。五十三、共栄の  
 膨脹。五十四、共進の膨脹。五十五、共栄の  
 膨脹。五十六、共進の膨脹。五十七、共栄の  
 膨脹。五十八、共進の膨脹。五十九、共栄の  
 膨脹。六十、共進の膨脹。六十一、共栄の  
 膨脹。六十二、共進の膨脹。六十三、共栄の  
 膨脹。六十四、共進の膨脹。六十五、共栄の  
 膨脹。六十六、共進の膨脹。六十七、共栄の  
 膨脹。六十八、共進の膨脹。六十九、共栄の  
 膨脹。七十、共進の膨脹。七十一、共栄の  
 膨脹。七十二、共進の膨脹。七十三、共栄の  
 膨脹。七十四、共進の膨脹。七十五、共栄の  
 膨脹。七十六、共進の膨脹。七十七、共栄の  
 膨脹。七十八、共進の膨脹。七十九、共栄の  
 膨脹。八十、共進の膨脹。八十一、共栄の  
 膨脹。八十二、共進の膨脹。八十三、共栄の  
 膨脹。八十四、共進の膨脹。八十五、共栄の  
 膨脹。八十六、共進の膨脹。八十七、共栄の  
 膨脹。八十八、共進の膨脹。八十九、共栄の  
 膨脹。九十、共進の膨脹。九十一、共栄の  
 膨脹。九十二、共進の膨脹。九十三、共栄の  
 膨脹。九十四、共進の膨脹。九十五、共栄の  
 膨脹。九十六、共進の膨脹。九十七、共栄の  
 膨脹。九十八、共進の膨脹。九十九、共栄の  
 膨脹。一百、共進の膨脹。

朝鮮彙報

大正五年十月一日（癸亥）

目次

龍口の日蓮龍口の日蓮 龍口の日蓮 龍口の日蓮

今日の世界今日の世界 龍口の日蓮 龍口の日蓮

神田區富田五

朝鮮彙報

大正五年十月一日（癸亥）

目次

龍口の日蓮龍口の日蓮 龍口の日蓮 龍口の日蓮

今日の世界今日の世界 龍口の日蓮 龍口の日蓮

神田區富田五

報彙鮮朝

朝鮮日報 大正五年十月一日

目次

●口繪 浮石寺 智異山 中の部落 日頭山 中の獵舎  
●拓本 江原道 原州 靈鳳山 興法寺 眞空大師塔碑  
●治水と水利 持地土木局長  
●遺傳の原則に依る採種法 鏡模範場技師  
●窯業に就て 森中央試驗所技師  
●六月中水害救恤金下賜 各道行政區域名稱一覽(京畿道  
●國境に於ける外國貨幣流通狀況 大阪對朝鮮貿易 東京  
●に於ける朝鮮牛概況 七月中朝鮮經濟概況 八月の朝鮮貿易  
●果樹栽培培植指針(前) 勸業模範場蓬島支堪  
●原蠶種製造成績 釜山港の荷役 八月中の鐵道運輸 海  
●業船 育立學校入學試驗成績調查 學校生徒身體検査 漁  
●動産登記制度(二) 司法官試驗實務試驗 虎列拉豫防概況 不  
●土地の肥瘠に關する簡易鑑別法 向坂模範場技師 朝鮮  
●機業に就て 室田校子 道長官と警務部長との職制上の  
●關係に關する永野法學士の所説に就て 小松長五郎 滿洲  
●貨一班(二) 戰時中の露國の地方通信 松報 叙任及辭令  
●朝鮮に於ける重要農產品及農産加工品 朝鮮通譯官  
●並に内地に於ける同種品の貿易概況  
●統計 法令及通譯 民刑事判決例  
●朝鮮語の研究 新庄通譯官

●投稿を歓迎す 原稿締切期限毎月十日  
●販賣店 東京神田區松榮堂 朝鮮各地の書店に販賣す  
●廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書齋店

[illegible][illegible]











「三三」血の誓

霧さに神祕の收縮した肩先へ、快  
よい異性の手が觸れて、そして物を  
言ふごとにその肩から洩れて来る温  
かい呼吸が、皮も燃ひほかにちがひ  
切つた暖へす／＼と吹か／＼した時  
には、野郎のやうな荒くれ男もしば  
らくは酩酊はされたやうな心持になつ  
て、梅子の腕を仰見けてゐた。

『彼の時私に私し何と云つて？私しの  
平氣で惡魔のやうな行ひをして、愛  
も肉も一緒に滅ぼして丁うお前は、  
猶のごとお氣の毒ですから、家に残  
つた二人のことも能く察へて、清い心  
になつて下さいとお頼みしたんで  
す。お前が改心して下さり下されば、  
お前の家庭は復活したやうに、幸  
福になるんぢやありませんか。眞理  
おやありませんか。』

『なに、そりやア分つてゐます』



「いや、言はない譯にはいきません  
實に私し、爺や花さんの心の中に立  
入つて考へるこゝ、可哀想でならない  
のよ」眞心から悔み出して来る涙を  
眼も上げて、附きながらそつと二人  
を出した。爺やにさつて見ると、一  
ツ切の男子息で家の相續者でせう。  
花さんにするゝ二人、ほつちの兄妹よ  
さんなにお前を力にしてゐるか知れ  
ないわ。それなのに家を飛出したつ  
切り行方が知れなくなつて、悪い時  
ばかり開て来るので心配してゐた

總讀會員 泉 新嘉坡海山街三九四號  
現居 檳榔嶼海山街三九四號  
京城本町一電一三八八 松榮堂書店

いけれども、つひ鼻の先で蓋みだの  
いけれども、つひ鼻の先で蓋みだの

しも、察にでも引かれるやうなことに、なつて御覧。源作の子息ださうだ。お北の兄にださうだ。村の者から後指をさくれたら、二人の思はまうさんなでせう。お前、爾ういふことも少しは考へて見なけりやならないわ。」

「困るな、そんなことばかりを言つて……」源太は苦い顔をして、太息を吐いた。


「お前は私しへ死んでくれと要求したんでせう。そんな要求をされる理由は些とまなかつたけれど、私しは承諾し上げたわけね。爾うでせう。ただごもそれを承諾したことか私が、にとつて無意味だつたのよ。何のゆゑに死ななければならぬのか分らちぢかつたのよ。分らないけれど死なまきやならない運命だつたんだわ。で私しその死に拘めても意味をなさずたせて、快く死にたいと思つたのよ。爾う思つたもんだから、私が殺されて上げるかはりに、是つ切悪悪心を持って、正しい人間に返つて下うと要求したのよ。お前がそれを容れてさへ呉れば、お前の家庭が救はれるし、又なわ前の思も救はれるし、

落點が秋野馬場、近き川の裾  
落點と漁りの家路雨晴る  
洪水年の結露に服く七瀬川  
竹に實の生川北村落葉點

松 堀  
翠 翠  
同 風  
骨 竹

新聞紹介

料理の友十月號 馬場春子文史の一  
料理の雑誌は秋の味、馬場の春子文史の一  
流平月氏の生活と文化の精華、杉本清一の日本人  
の食物、井田改良した夕飯の新婦達の野遊  
風景園地、新富高橋の有名な安食料等數十頁  
上大崎中丸山料理研究會発行（一冊廿五円）東京  
道之友九月號 十五條公彦氏選配丹波  
町三畠八郎氏作  
家庭のローマ字十一月號 五條東京市駒  
町四角榮男氏の「ローマ字」字のいろいろの例  
織田十月號 一電報の價目、帝國の偉人、  
「天竺香樹堂」海防隊の興亡、  
代議士二十餘名選舉圖（國益社）  
獨立公論 九月號 「日清開戦後、武士道  
の彫形變遷、鐵工廠の發見」等主筆の英文  
文藝アワー（一前出佐々木君、市マナサント  
街、ベルアクト三〇共託）  
趣味之友及運動者雜誌 院院にリヤする評  
文展十以上、其功過其他第三十二號長岡陣田  
保興續六共託）



院の名を借りて  
筆墨の行跡を大  
自の資上高て  
白鹿を肥しつゝ  
あるものがある。遂に取締るべし。(西  
門生) ▲處々の葺屋の煙突から又復  
煤煙が露に飛び始めた殊に水樂町邊  
の風呂屋のは醜い近隣の迷惑一方  
ならず何と云つて貰ひたいものだ。(近  
所代表) ▲本朝の名ある呉服店で反  
物を買つたら破れた處を縫ひ合せて  
誤魔化してあつた某城の商人は之れ  
だから困る(中生) ▲粗も髪らず市街  
は隙間は附口だナト某氣話しに市民  
大運動でもやつては何うです市内  
各組合にお勧め申す秋の神) ▲魚船  
に關して注意するならば此際不消化  
物などは絶対に攝らぬが好い此頃魚  
屋にタコなどが見ゆる彼れは虎狼の  
大好物だ(一衛生家) ▲朝日新聞會  
社此年は貴會發起で金銀細工大行  
やつては何うです金剛山の卷狩なん  
の随分愉快だらう其れこそ實際除  
の主意から何處から大勢得でもあ  
つては何うです眼で居る秋はやつ  
いた某社(一團の染整を頼み茶色に  
救) ▲海の邊の名の付

<p><b>京日案内</b></p> <p>普通一、二兩金銀幣外、一圓四角(假名)一兩等          市價中、通貨幣、外、他種金貨、銀貨等</p>		<p><b>○金融</b></p> <p>花岡町八十七本町電報終局 農商          京都銀行 大和屋          年始廣告用懷中日記 受十一年限取引          京阪本町二丁ウツボ書畫店          本店員入用 店內身元保証書          木町四丁目 食料雜貨賣出商店          電話一四九四番店</p>		<p><b>○地方</b></p> <p>月收の御方(信州)秘立登          御前同上候          見習看護婦人入用          京坂本町一丁目</p>		<p><b>○金融</b></p> <p>月收の御方(信州)秘立登          御前同上候          見習看護婦人入用          京坂本町一丁目</p>		<p><b>○金礦</b></p> <p>杉本耳鼻泉眼科醫院          大和町三丁老松田下起末尾          志望者主急申出仕人保課入を要          京城市野町岩城諸店</p>		<p><b>○店員入用</b></p> <p>青葉町二丁目百廿番地          大正三十三郎</p>	
--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	---	--

富山酒造場

**生徒募集**

裁縫、刺繡、各種  
生徒を募集す  
御希望の向は御一報次第規則書を送  
呈す 京城黄金町二丁目  
シンガー裁縫刺繡院

470

完全なる大ピアノ一臺

英國物鋼鐵製金庫一個

譲りたし 480

(姓名在社)

番外

本邦鐵道の社及監本持  
内に及せる影響 附圖 叔火二二〇〇  
現在、西洋哲學史 義著 第二五〇

**▲鑛物各分拆**

京城太平池二の二三 元朝陽分拆所  
電話二八三三 松永分拆所

448

**▲寢臺車** 普通並用 各別々に  
運送 之候京城本町二丁目電話四一  
六番 京城醫師會用 前山組

418

富山酒造場

京城本町一丁目 富木旅行用品店

**魔法瓶中瓶取替**

柳製專賣靴 其他色々

京城春川町二丁目 自働車輸入店  
京城春川町四丁目 午前八時出店  
大門口 廣橋自働車組

電話二一九番 主務 金正 428

京城本町一丁目 富木旅行用品店

富山酒造場

本邦鐵道の社及監本持  
内に及せる影響 附圖 叔火二二〇〇  
現在、西洋哲學史 義著 第二五〇

**新刊書待案内**

富山酒造場

番外

彼れ是と迷無かれこれまよひな  
 眞に能く効くしんにかよく  
 神しん 症せん 湯とう  
 即刻試みよ現に  
 烈しき神經痛で悩みし人  
 頗る難治リウマチスの人

# 病血の道ヲスチマウリ

● こんな徴候の入  
 胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、  
 等々等つり、腫、し、びれ又は筋張痛  
 彼處此處と移動し、何となく怠く

● 百法効なき子宮病の婦人  
 異常に悲しむ血の道の婦人  
 多年憚らるヒステリーの人  
 不治の慢性胃腸病の人  
 などか此良藥神痛湯の連服で漸次快  
 方に赴き遂にはスツカリ快癒し  
 癒さの餘り鬱鬱な體狀一般の病  
 體に寄るゝ實例も数からず若不幸にも是等の病に罹む人あらば輕症  
 と難症の論なく即刻試す神痛湯は家  
 方の良藥にして今や全國各藥店に有り

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]